

「自己点検・評価書」・「基礎資料」正誤表

大学名：摂南大学薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	16	表中 2行1 列目	⑥学部長・教務委員会委員長	④学部長・教務委員会委員長
2	33	12～ 13	(資料2 p84、p281、資料3 p40 ～43)	(資料2 p84、資料3 p40～43)
3	54	表 5-1-6	(合計の項) 58人	(合計の項) 57人
4	60	9～10	専任職員11人(課長職1人、係長 職2人、課員2人)、嘱託職員3人、 非常勤職員3人を配置している	専任職員11人(課長職1人、係長 職2人、課員2人、嘱託職員3人、 非常勤職員3人)を配置している
5	60	14	さらに本学部では、薬用植物園の維 持管理要員として	さらに枚方キャンパスでは、薬用植 物園の維持管理要員として
6	74	34	その総面積は約2,000 m ²	その総面積は約2,500 m ²

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	11-1	177	講義室・演習室、大講 義室の備考1行目	メディクスホール	メディックホール
2	11-1	177	講義室・演習室		データを追加(赤字)
3	11-2	179	表2. 学部で共用する 実験施設		データを追加・修正(赤 字)

(基礎資料11-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

施設 ¹⁾		座席数	室数	収容人員合計	備 考
講義室・ 演習室 ²⁾	大講義室	366~502	3	1,282	2室の大講義室とメディックスホール間では、プロジェクターの映像ならびに音声をリアルタイムで中継できるようにシステムを構築。
	中講義室	135~252	23	4,087	
	小講義室	48~60	16	856	全て可動機
	情報処理演習室	130	2	260	CBTにも使用
	臨床演習室	12	10	120	OSCEにも使用、6号館：12人×10室
	演習室	8~16	15	156	7号館：8人×10室、12人×1室、16人×4室
	演習室	21~62	14	376	8号館：21人×12室、62人×2室
	メディックスホール	302	1	302	
実習室	化学系、医療系実習室	80~128	4	416	基礎、化学系、医療系実習で使用
	生物・衛生系、医療系実習室	80~120	3	320	基礎、生物・衛生系、医療系実習で使用
	臨床実習室	-	12	116	注射調剤実習室、無菌製剤実習室、病院薬局実習室、服薬指導実習室、保険薬局実習室、病棟実習室、医薬品情報実習室、模擬病室、調剤実習室等の総称
自習室等 ³⁾	自習室	18~200	9	663	談話室含む。自習室は他に図書館にもある。利用時間は8:00~22:00

薬用植物園	<p>① 設置場所：薬学部キャンパス内</p> <p>② 施設の構成と規模：薬草園と温室、果樹・薬樹園から成り、総面積は約2,500㎡である</p> <p>③ 栽培している植物種の数：生薬基原植物を中心に約300種</p> <p>④ その他の特記事項：果樹・薬樹園は学生の通学路に設置されているため、学生は常時自由に見学できる</p>
-------	---

- [注]
- 1) 総合大学では薬学部の教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。
 - 2) 講義室・演習室には収容人数による適当な区分を、例示を参考に設けて、同じ区分での座席数の範囲を示してください。また、固定席か可変席か、その他特記すべき施設なども、例示を参考にし備考欄に記入してください。コンピューター演習室の座席数は学生が使用する端末数としてください（教卓にあるものなどを除く）。
 - 3) 学生が自習などの目的で自由に利用できる開放スペースがあれば記載してください。

(基礎資料11-2) 卒業研究などに使用する施設

表 1. 講座・研究室の施設

施設名 ^{1), 2)}	面積 ³⁾	収容人員 ⁴⁾	室数 ⁵⁾	備 考
教員個室 (教授室など)	18.2 m ²	1人	53	個室は教授・准教授・講師のみ、助教以下は実験・研究室にデスクがある
実験室・研究室	57.4 m ²	-	61	単独の研究室・分野が占有しているもの

- 1) 単独の講座・研究室などが占有する卒業研究で使用する学生用研究室は、(基礎資料11-1)と重複してかまいません。
- 2) 複数の講座・研究室が(隣接する2～3講座で共用で)占有する施設があれば、記載してください。
実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。
- 3) 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値を記入してください。
- 4) 1室当たりの収容人数を記入してください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値を記入してください。
- 5) 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数を記入してください。(ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。)

表 2. 学部で共用する実験施設

施設の区分 ^{1), 2)}	室数	施設の内容
共同利用機器室	5	5室の共同利用機器室があり、それぞれ「超伝導核磁気共鳴装置 600MHz」、「超伝導核磁気共鳴装置 400MHz」、「高分解能タンデム型質量分析装置」、「自動細胞解析分取装置セルソーター」、「Airyscan型高速超解像蛍光イメージングシステム」、「粒径・ゼータ電位・分子量測定装置」、「ライフサイエンス分光光度計」、「細胞イメージアナライザー」、「共焦点レーザー走査顕微鏡」、「ゲル・WesternBlotting 画像撮影解析システム」、「タンパク質精製システム」、「エレクトロポレーター遺伝子導入システム」等の汎用機器を設置
低温室	1	常温以上の温度で変化しやすい生体成分や化学物質を用いる実験時利用
動物飼育室 (1号館6階)	13	一般飼育室 (3室)、SPF飼育室 (2室)、特殊動物飼育室 (2室)、行動実験室 (3室)、洗浄室 (1室)、剖検室 (1室)、処置室 (1室) を設置
動物飼育室 (6号館3階)	4	一般飼育室 (2室)、洗浄室 (1室)、解剖室 (1室) を設置
RI実験施設	5	無菌室 (1室)、測定室 (1室)、化学系トレーサー実験室 (1室)、生物系トレーサー実験室 (1室)、生物系実験室 (1室) を設置

- 1) 例示のように、大まかな用途による区分を設け、各区分に含まれる室数と施設の内容を例示のように列記してください。(面積などは不要です。)
- 2) 例示以外の実験施設 (例えば、培養室など) があれば追加してください。